お知らせ

本教会へ初めて来られた方々を
心から歓迎いたします。
「毎月最初の主日には聖餐式を行います。」

教会の働き

■ 柳師ご夫妻は、教団の会議および諸行事に出席するため、7月14日(日)～8月1日(木)まで韓国に行かれます。この期間中の主日礼拝メッセージはZoomを通して配信されますので、皆さまの祈りとご理解をお願いいたします。

■ 今日愛餐会の後男女宣教会の誕生日会があります。

■ 8月のキムチ伝道の為のキムチ作りは、9日(土)にあります。

■ 三分ブリッジ伝道法を共に学びましょう！
教会では、誰でも簡単に福音を伝えることができる「三分ブリッジ伝道法(3-Minute Bridge)」を、教会全体で覚えて実践していくことを目指しています。

聖徒の為に祈りましょう。

・コロナとインフルエンザから守られますように。
・施設に入られている方々の生活が守られる為に。
・YouTubeライブで、礼拝している教会と聖徒の皆さんの為に。(大阪ホームチャーチ、相模原の佐々木こずえ執事の家庭など)

「過去を見ずに未来を見よう」
ローマ書 6:20-23

20 あなたがたは、罪の奴隷であったとき、義については自由にふるまっていました。21 ではそのころ、あなたがたはどんな実を得ましたか。今では恥ずかしく思っているものです。それらの行き着くところは死です。
22 しかし今は、罪から解放されて神の奴隷となり、聖潔に至る実を得ています。その行き着くところは永遠のいのちです。23 罪の報酬は死です。しかし神の賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。

来週礼拝奉仕者

主日礼拝 韓芽唯(賛美リーダ) 高木はつ江(祈祷)
夕方賛美礼拝 韓芽唯(賛美リーダ) 熊谷茂美(祈祷)
水曜礼拝 高木はつ江(司会) 松島スヤンティ(祈祷)

礼拝時間案内

主日礼拝 AM 11:00
夕方賛美礼拝 PM 2:30
教会学校（小学生まで） AM 9:50～10:30
水曜礼拝 PM 7:00
祈祷会．火・木曜日 PM 8:30～9:30
土曜日 PM 8:00～9:00

週報 2025-30号 2025.7.27

神の国とその義を
第一に求める

宗教法人 イエス・キリスト

飯田福音教会

3

95-0807 飯田市鼎切石 3883-4
TEL 0265-56-8286
www.iidahc.com

牧 師 柳 承吉(ヤナギ ショウキチ)
副牧師 柳 智愛(ヤナギ チエ)

主日礼拝　　AM 11:00～

賛美リード　　柳澄香

信仰告白　　（使徒信条）

代表祈祷　　平澤寿子

特別賛美　　インマヌエル聖歌隊

お知らせ

聖書個所　　ローマ書 6:20-23

（過去を見ずに未来を見よう。）

メッセージ　　柳承吉牧師

賛　美　　神の家族

祝　祷　　柳承吉牧師

夕方賛美礼拝　　PM 2:20～

賛美リード　　柳澄香

代表祈祷　　鈴木真由美

聖書個所

メッセージ　　証しメッセージ

柳澄香

主の祈り

水曜礼拝　　PM 7:00～

司　会　　松島スヤンティ

代表祈祷　　高木はつ江

聖書個所　　証しメッセージ

メッセージ　　韓芽唯

今週の御言葉

「過去を見ずに未来を見よう」 ローマ書 6:20-23

私たちは、「昔はよかった」「あの頃は…」という言葉を口にしがちです。過去の成功、思い出、美しい記憶に浸ることは、ある意味で心の慰めかもしれません。しかし、私たちは覚えておかなければなりません。「過去」は私たちを縛るものにもなり得るということです。聖書は、過去ではなく「今日」そして「未来」に目を向けるよう私たちを招いています。今日のみことばを通して、私たちの視点が過去から未来へと転換されるように祈ります。

1. 過去を見ても、解決はありません

主イエスは、御自身を裏切って去った弟子たちに、過去のことを何も問いませんでした。放蕩息子の父も、帰ってきた息子に何も責めず、ただ抱きしめました。なぜなら、主にとって過去は問題ではないからです。問題にされるのは、むしろ「今」、そして「これから」なのです。

ヨハネ 9 章では、生まれつき盲目の人に対して弟子たちが原因を問うと、イエスは「神のわざが現れるためです」と、未来的な視点で答えられました。私たちも、人生の答えを「過去」ではなく「未来」に見出すべきです。

2.「罪の奴隷」だった過去

ローマ 6:20 はこう語ります。「あなたがたは、罪の奴隷であったとき、義については自由にふるまっていました。」

かつて私たちは、自分勝手に生きることが自由だと思っていました。でもそれは、自由に見えて実はサタンに縛られた生き方でした。欲のまま、感情のままに生きた日々は、本当の自由ではありませんでした。そのような「義に対して自由だった」時代は、恥ずかしい実ばかりを生み出しました（21 節）。真理を知らないと、死が見えず、死が見えないと、過去がよく見えてしまうのです。

サタンは私たちの過去を美化し、「あの頃は良かった」と思わせます。でも、イスラエルがエジプトの奴隷生活を懐かしんだように、それは錯覚にすぎません。

3. 真の自由はキリストの中にある

ヨハネ 8:32 はこう宣言します。「あなたがたは真理を知り、真理はあなたがたを自由にします。」真の自由とは、自分の思い通りに生きることではありません。御言葉に従い、キリストの中にとどまることが、真の自由なのです。

私たちはもはや、罪の奴隷ではありません。義の奴隷、すなわちキリストのしもべです（ローマ 6:22）。その結末は「永遠のいのち」です。皆さん、今あなたは何に心を縛られていますか？過去の傷、失敗、後悔に囚われていませんか？主はあなたに「未来を見なさい」と語っておられます。今日よりも明日が希望に満ちていると信じるのが、キリスト者の信仰の姿勢です。「昔が良かった」ではなく、「これからがもっと良くなる」。この確信こそ、信仰に生きる者の姿です。

ローマ 6:23 の結論ははっきりしています。

「罪の報酬は死です。しかし、神の賜物は、私たちの主キリスト・イエスにある永遠のいのちです。」

サタンは過去を見せ、死へと導こうとします。しかし、キリストは未来を見せ、いのちへと導いてくださいます。だから、私たちはもう過去に縛られることなく、今日の恵みを喜び、明日の希望を見つめて歩みましょう。

「過去を見ずに、未来を見よう」それが、主が今日私たちに語られるみことばです。